



Maison Kumamuta

2024年 発行 10月号

広報 メゾン・クマムタ VOL.197

社会福祉法人 恵春会

基本理念

人間尊重の精神と人間平等の思想の実現

方針

1. 個人の自由と権利の尊重
2. 自立への援助
3. 施設は地域社会福祉の核となれ
4. 職員は専門職としての誇りと研鑽を
5. 在り続けるために不断の努力を

10月生まれの ご利用者の方



ホームページ用



インスタグラム



まつやま
松山 様

かわち
河地 様

障害者支援施設 くまむた荘

〒861-4215

熊本県熊本市南区城南町沈目1502

TEL (0964) 28-4680 FAX (0964) 28-5403

くまむた荘デイサービスセンター春秋館

TEL・FAX (0964) 28-2760

相談支援センター絆

〒861-4202

熊本市南区城南町宮地1050

TEL (0964) 28-7799 FAX (0964) 28-0040

九州大会in熊本

9月11～12日KKRホテルで開催された第四十一回九州身体障害児者施設研究会【熊本大会】に、内田副主任・出水生活支援員2名、大会係員として施設長他3名で参加してきました。内容は、基調講演として厚労省より「障害者福祉施策の動向について」、熊本市現代美術館の館長でもある美術家の日比野克彦氏による「アートと福祉」の記念講演。分科会は「意思決定支援と個別支援の実行」に参加しました。意思表示が難しい方への支援方法、思いを叶えてあげたいが出来ない現状への葛藤、日々支援を行っていく中での課題や取り組んでいる事等々、九州管内の各施設職員と意見を交わしました。学びの多い実りある研修だったと言える様に、今後の支援に生かして行きたいです。(報告 出水生活支援員)



2日目大会司会を務めた久保田事業部長！お疲れ様でした🎤



分科会幹事役の梅田施設長！

全国大会in仙台

9月26～28日に宮城県で行われた身体障害者福祉協議会主催全国研究大会に梅田施設長・岩本介護副主任・増田生活支援員3名が参加してきました。内容は、能登地震、能登豪雨災害の報告、防災対策への取り組み、権利擁護、意思決定支援、人材育成の計画等、各県によるたくさんの研究発表があり時間いっぱい各会場を回り受講しました。夜は意見交換会・懇親会が行われ、同じテーブルだった愛媛県や福岡県、鹿児島県の施設職員とご一緒し、交流してきました。今回学んだ事をくまむた荘でも反映出来るよう取り組んで行きたいです。

(報告 岩本副主任)

最後に宮城の料理は美味しかったです。



梅田施設長 増田生活支援員 岩本介護副主任

おくやみ



小林 明子前理事長

かねてより療養中の小林明子前理事長(享年94歳)が、9月27日永眠いたしました。ここに、皆様方からの生前中のご厚誼に深く感謝申し上げますとともに、謹んでご報告申し上げます。

昭和49年のくまむた荘創設以来、32年の長きにわたって施設長を務められ、平成10年からは医療法人、社会福祉法人の理事長を務められるなど、グループに多大な功績を残されました。

特に印象深かったのはいつも明るい笑顔でそれぞれの利用者様に接しておられたお姿です。我々もその寄り添う姿勢を忘れず、継承していきたいと思えます。

合掌

新しく利用者紹介

おおつか みちよ
大塚 美智代 様



9月4日に入所しました。食えることが好きで、毎日の食事を楽しみにしています♪
よろしくお願いします。

※10月の誕生ご利用者紹介



榎山様★3日



大久保様★14日



内田様★26日



吉田様★11日

食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋、実りの秋・・・楽しみの多い季節になりましたね。春秋館でも、午後のレクリエーションにて体操を多く取り入れているところです。しっかり身体を動かしていきましょう♪
今月は、久しぶりに外出行事を計画しています。感染症対策を行いながら実施してまいりたいと思いますので、よろしくお願い致します。
また、創作活動にてコースター作りも行っていますので、お楽しみに♪

←【熊本弁カルタ】挑戦しました★

→レクリエーションにてストレッチを行っています★皆さん頑張っています！



相談支援センター絆

秋気さわやかな季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。
今回は熊本市障がい福祉課が令和5年3月発行した「医療的ケアが必要なお子さんと家族のための支援ガイドブック」のご紹介をさせていただきます。
近年、医療技術の進歩等を背景として、日常的にたんの吸引や経管栄養等の医療的ケアを必要とする方々が増えている現状です。熊本市においては、令和2年度に実施された「重症心身障がい児者・医療的ケア児者生活実態調査」において様々なご意見をもとにガイドブックが作成されました。
詳細はガイドブックを見ていただけたらと思いますが、福祉制度等の相談・受付窓口には当センターも含まれておりますので、お気軽にご相談ください。
最後になりましたが、日ごとに秋が深まってまいります。どうぞお健やかに過ごしてください。

医療的ケアが必要な
お子さん②家族のための
支援ガイドブック



熊本市



←QRコードを読み取っていただくと、熊本市HPへ移ります。



職場体験

9月は「下城南中学校・ナイストライ」「甲佐中学校・職場体験」「熊大医学部早期臨床体験実習」の受け入れに伴い、多くの学生の方々が施設を訪れました。

ご利用者の生活介助やリフトへの移乗、車椅子体験など様々なプログラムにチャレンジしてもらいました。また、実習生の来荘をご利用者も楽しみにされており一緒にオセロをしたりお話をしたりと交流を楽しまれました♪



下城南中ナイストライ

(9月3日～5日)



話をするのが楽しかった。気を遣うのが大変だった皆が優しく3日間楽しかった。(大村さん)



緊張したけど優しく教えてくださいましたから充実した3日間になった。(緒方さん)

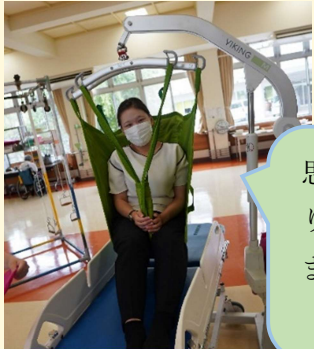
甲佐中職場体験(9月11日～13日)



食事介助の様子



熊大医学部実習(9月24日～26日)



思っていたより安定していました。(西岡さん)

リフト体験



車椅子体験の様子

法人内人事交流 祥麟館へ

9月17・18日に、くまむた荘からは介護部の内田副主任が祥麟館で研修。また祥麟館からは介護部の坂田リーダーがくまむた荘で交流研修が行われました。内田副主任「くまむた荘と違い、高齢者施設での介護業務に戸惑う事もありましたが、いい刺激を受けました。祥麟館の昼食も頂きましたが、敬老週間ということで松茸ご飯や茶碗蒸し、お刺身が付いており豪華な昼食でした。」嬉しいサプライズ!

一方坂田リーダーも「初めてのくまむた荘での研修で緊張しましたが自らの仕事を振りかえるいい機会となりました。」今後も交流研修を継続していきます♪



祥麟館のトイレのスペースは、車椅子使用での介助がしやすい広さでした。

温冷配膳車導入



ご利用者と同じメニューの検食